

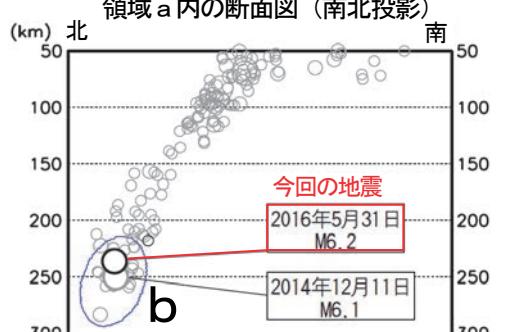
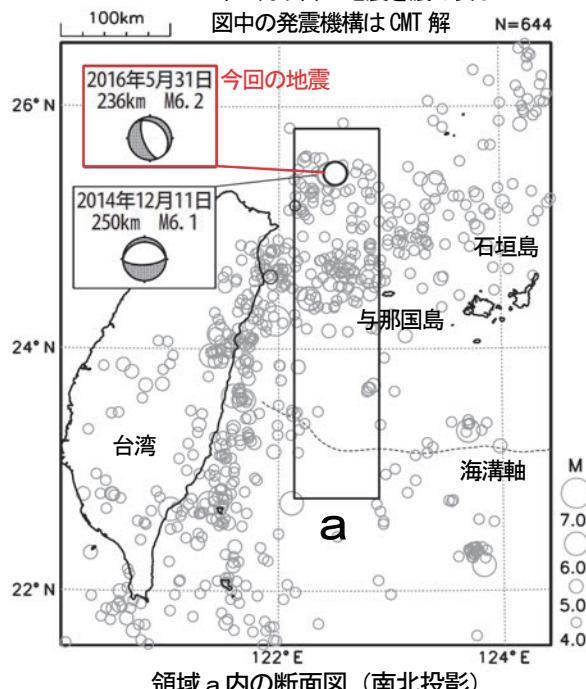
5月31日 石垣島北西沖の地震

震央分布図

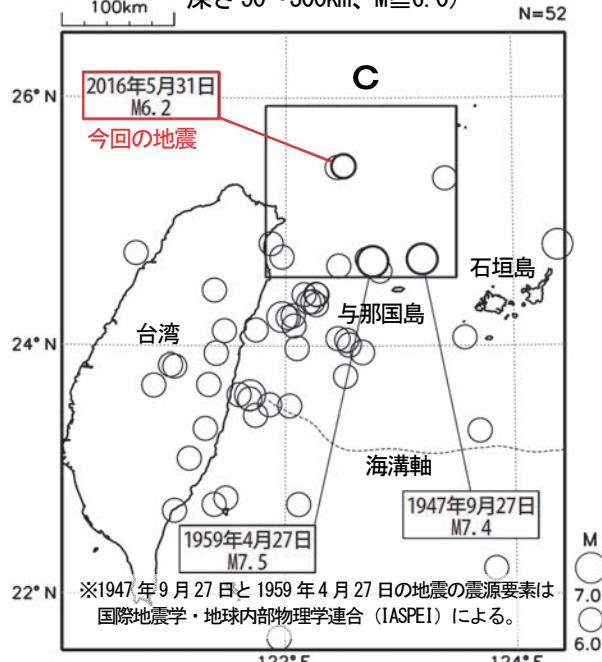
(2000年7月1日～2016年5月31日、
深さ 50～300km、M≥4.0)

2016年5月以降の地震を濃く表示

図中の発震機構は CMT 解 N=644

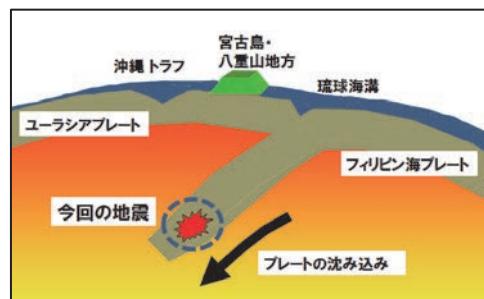


震央分布図
(1923年1月1日～2016年5月31日、
深さ 50～300km、M≥6.0)



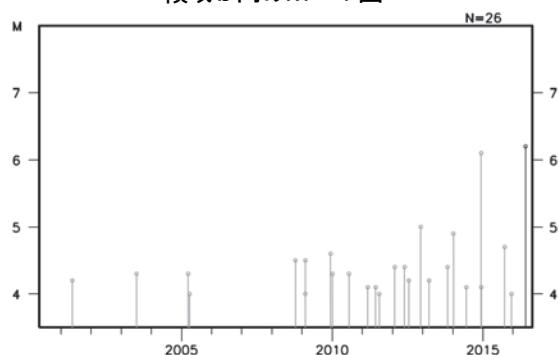
2016年5月31日14時23分に石垣島北西沖（与那国島の北北西約120km）の深さ236kmでM6.2の地震（沖縄県内で最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生し、発震機構（CMT解）は東北東～西南西方向に張力軸を持つ型であった。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近(領域b)では、2014年12月11日にM6.1の地震（最大震度2）が発生している。



宮古島・八重山地方周辺の
プレートの沈み込み (模式図)

領域b内のM-T図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、1947年9月27日にM7.4の地震（最大震度5）が発生し、石垣島や西表島で合わせて死者5人の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、1959年4月27日にはM7.5の地震（最大震度4）が発生している。

領域c内のM-T図

